8.3 集合住宅の省CO_2化促進事業（経済産業省連携事業）／既存住宅の断熱リフォーム支援事業／既存住宅の断熱リフォーム支援事業（個別）

①窓ガラスの断熱改修による空調効率向上と結露抑制を実現した集合住宅の取組

飯田　裕（東京都世田谷区）

【HP】－　【備考】－

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	集合住宅の省CO_2化推進事業
補助事業の概要	① 新築低層ZEH-M促進事業 ② 新築中高層ZEH-M促進事業 ③ 既存集合住宅の断熱リフォーム支援事業 ③-1 既存集合住宅の断熱リフォーム支援事業（全体） ③-2 既存集合住宅の断熱リフォーム支援事業（個別）
実施目的	エネルギーの自給自足により災害にも強く、ヒートショック対策にもなるZEHの更なる普及、高断熱化を推進する。またエネルギー価格高騰への対応にも資する、現行の省エネ基準に適合しない既存住宅の断熱性能向上による省エネ・省CO_2化を行う。2030年度に目指すべき住宅の姿として、新築される住宅についてZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指す。2030年度の家庭部門からのCO_2排出量約7割削減（2013年度比）に貢献することを目指す。2050年度のカーボンニュートラル達成に向けて脱炭素社会を推進する。
交付対象	住宅取得者等
補助率	① 定額（40万円／戸、補助上限額：3億円） ② 1/3以内（補助上限額：1年あたり3億円） ③ 1/3以内（補助上限額：③-1 10億円、③-2 1億円）

①窓ガラスの断熱改修による空調効率向上と結露抑制を実現した集合住宅の取組

事業の概要

補助金額	補助金額	3.3万円
	補助率	1/3
導入設備	従前設備	既存窓ガラス（断熱効果なし）
	導入設備	断熱窓ガラス（Low-E複層ガラス）
事業期間	稼働日	2024年10月
備考	総延床面積	12.11㎡



断熱窓ガラス

事業の効果

エネルギーコスト

▲約0.1（万円／年）

CO_2削減効果

約0.02（t-CO_2／年）

投資回収年数

ー（年）→ **ー**（年）

CO_2削減コスト

約11.5（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **断熱性能の窓ガラスへの改修により、空調効率が向上し、光熱費の削減と物件の魅力向上につながった。**
- **また、結露の発生や外部からの騒音が抑制され、居住者の快適性および建物の維持管理性が改善された。**

事業者の声



飯田 裕

新聞折込チラシに同封されていたリフォーム業者からの補助金案内を目にし、リフォームの際に窓の断熱改修も合わせて実施することとしました。

今回の工事により、空調効率および空調停止時の断熱効果が向上し、結露の発生および外部からの騒音が抑制される効果が得られ、居住者の快適性が向上しました。また、結露の減少により窓枠のカビ発生が抑制されるなど、維持管理性にも改善が見られ、物件としての魅力と価値の向上につながりました。